

「にっぽん丸」に乗船して

菅原様ご夫妻

(乗船コース：飛んでクルーズ北海道Dコース)

この度ご縁を頂いてモニターとして夫婦で参加させていただきました。

長いこと憧れていたクルーズ。

今回参加するまでは、憧れてはいたものの行くとしたら定年後かなあとぼんやりとした計画があっただけでした。

小樽へ向かう途中日本海を眺めながら、それでもまだ自分があのにっぽん丸に乗船出来るとは実感が湧かず、ようやく小樽港に着くと美しい船が私たちを待っていてくれました。ああ本当にクルーズに行けるのだと期待に胸が膨らみました。



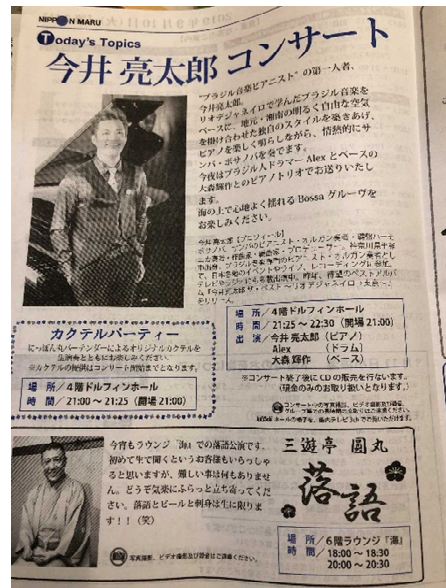
運ぶのが心配だった大きなキャリーケースも受付で預け、乗船手続きを終えて部屋に着く頃にはドアの前に置かれており、至れり尽くせりのおもてなしに出発前から感動してしまいました。

出航する時にシャンパンが振舞われ、小樽の方達に見送られ銅鑼の音を聞きながらにっぽん丸の旅が始まりました。



A collage of four photographs showing various food items. The top-left photo shows a small white plate with a green garnish, a purple garnish, and a small round garnish. The top-right photo shows a glass of iced coffee with a blue label. The bottom-left photo shows a large white plate with a green sauce, a garnish, and a small round garnish. The bottom-right photo shows a small white dish with a garnish.

羅臼ではお天気が良く、知床連山の羅臼岳、そして北方領土の一つ国後島がはっきりと見え、旅情と郷愁をかきたてられました。

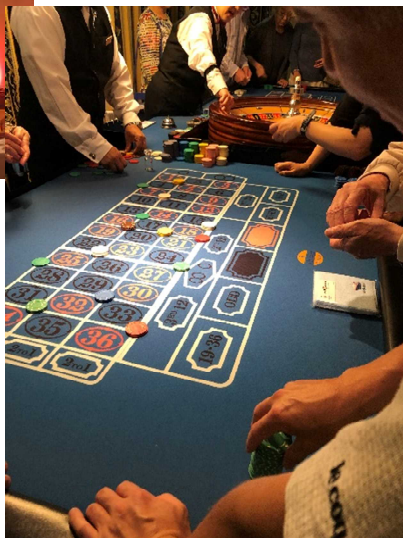


印象に残ったことをあげればきりがありません。

まずは、お食事。 フレンチのフルコースや美しい和食、ビュッフェ、美味しいのはもちろんスタッフのサービスのスマートさ、そして心からのおもてなしの笑顔で毎回舌も心も満たされました。

朝昼夜の食事の他にもアフタヌーンティーや軽食なども無料で提供されており、それもととても美味しく、特に多くの人々がGODIVAのショコリキサーというフローズドリンクを楽しみにしていました。あまりの美味しさに2回も飲みました。

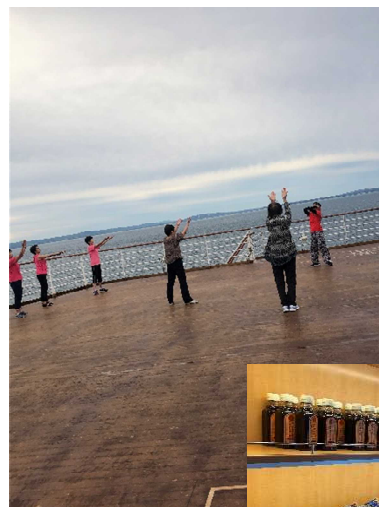




クルーズの良さは、夜寝ているうちに移動して朝になれば観光地についています。これは本当に楽なことです、あれこれ移動手段を使わずともホテルで過ごし朝にドアをあけたら観光地が広がっているというのは自分が高齢になった時も安心して旅ができるな、と実感しました。



お楽しみは尽きることがありません。夜になれば落語の三遊亭圓丸さん、ボサノバピアニストの今井亮太郎さんやバンドみなさんに素晴らしい時間を提供していただきましたし、カジノやマージャンルーム、私の場合は食べてばかりでウェイトが気になりましたので、フィットネスルームや朝の甲板での体操も出来て飽きることがなく楽しく健康的に過ごせました。そして大浴場があるのも魅力的でした。



時が過ぎるのが惜しいくらいのクルーズ。船を降りる前に夫とまた来年もクルーズに参加しよう、と約束し船を降りました。

「にっぽん丸」 この美しい船でクルーズをしたいという気持ちがこれからの日々のモチベーションにつながる、そんな旅になりました。